

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 17 日現在

機関番号：32665

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2012～2014

課題番号：24730377

研究課題名(和文)流通における中小小売商業者の存在意義に関する理論的・実証的研究

研究課題名(英文)Theoretical and empirical study of the function of small and medium-sized retailers

研究代表者

横山 斉理 (YOKOYAMA, Narimasa)

日本大学・商学部・准教授

研究者番号：70461126

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円

研究成果の概要(和文)：研究成果は、大きくは以下の4点にまとめられる。第1は、スーパー業態のマクロ指標の整理により、日本の流通構造における中小商業者の位置づけを確認することができた。第2は、事例研究により、小売業の店頭従業員においては、店頭従業員特有の知識構造プロセスが存在することを確認した。第3は、小売店舗への来店客から得られたデータを顧客満足度モデルを用いて分析した結果、一見不利に思われる価格において優位性がみられることが確認された。第4は、小売店頭の従業員から得られたデータの分析結果から、店頭従業員の能力獲得には外部環境のプレッシャーがポジティブに働く場合とネガティブに働く場合があることが確認された。

研究成果の概要(英文)：The outcomes of this research were following four. First, significant presence of small and medium-sized retailer was confirmed from the analysis of macro index of Japanese retail distribution. Second, distinct feature of knowledge creating process of retail on-site workers was revealed from case study of medium-sized local supermarket chain stores. Third, price was most important retail mix factors (assortment, location, price, and service) by analyzing of customer satisfaction model. Forth, external factor (degree of retail competition) of retail store moderates the relationship between personal/group factors and acquiring personal ability by using multilevel analysis.

研究分野：商業

キーワード：流通 商業 中小小売商業者

1. 研究開始当初の背景

(1) 日本の流通構造は、SII (日米構造協議) でも指摘されたように、複雑で非効率であると評価されてきた。その理由の一つは、小規模で零細な商業者が多数存在していることである。零細な商業者はしかしながら、長期的に減少傾向にある。その理由として指摘されてきたのは、商業者を取り巻く競争の激化といった外部環境や、後継者不在といった内部要因である。

(2) このような零細商業の衰退は、マクロ的には、流通を担う商業部門の一つが衰退しているということに過ぎないという見方がある一方、近年では、地域コミュニティの崩壊やフードデザート問題 (近隣に生鮮食料品を購入できる店舗がないエリアが増加しているという問題) と関連づけられ、学術的・実務的に注目を集めている。

さらには、流通業界における革新的な小売業態のほとんどが零細な商店からスタートしてきたという歴史を鑑みると、零細商業の衰退は、看過することのできない重要な問題であると捉えることができる。

2. 研究の目的

(1) 以上の背景を受けて、本研究では商業者の学習に着目し、チェーンオペレーションに基づく大規模小売商業者に対して中小商業がどのように競争優位を構築しているのかを考察することを目的とする。この目的のために、本研究では、中小商業者の学習を促進する状況や、学習が商業者の戦略的行動にどのような影響を与えているのかについて理論的・実証的研究を行った。

3. 研究の方法

(1) 研究は大きくは4つの段階に分けて実施された。第1段階は先行研究のレビュー、第2段階は事例研究、第3段階は実証研究、最後に第4段階が理論的検討と研究成果の発信である。研究の効果的・効率的推進のために、それぞれの段階はあくまでも目安とし、たとえばレビューをしつつ探索的な質的研究も推進する、といった相乗効果が得られるように工夫した。

(2) 第1段階では、経営現象における学習に関する文献や、外部環境の変化 (=今回はインターネット販売の導入) により商業者の活動がどのように変化するのかといった商業者の行動に関する文献をレビューすることにより、環境変化と商業者の活動の関係を学習という視点から理解することができた。第2段階では、事例研究を行うことにより、商業者の学習が促進される状況について理解を深めた。第3段階では、実証研究により、商業者の学習に関するモデルの妥当性を検証した。第4段階では、文献研究、定性的・定量的研究から得られた知見を国内外で発信することで、研究をさらに推進するためのフィードバックが得られた。

4. 研究成果

(1) スーパー業態のマクロ指標の整理により、流通構造における中小小売商業の位置づけを確認することができた。それによると、日本の小売市場 (スーパー業態) においては、トップ企業の市場集中度が欧米諸国と比べて低いこと、つまり、中規模企業が相対的に存在感を持っていることが明らかになった。

(2) 文献研究と事例研究、そしてそれらを発信した際に得られたフィードバックにより、小売商業者の学習について、店頭従業員の知識創造プロセスの概念的モデルを構築することができた。小売業においては、先行研究で指摘されているプロセスのほかに、組織にフィードバックされない、現場 (臨床) の知と呼べるような知識創造と行動のフローが存在することが指摘された。

(3) 小売業の競争優位について、顧客満足モデルの実証分析により、中規模チェーン小売企業においては、一般的には不利と見なされる価格において優位性が認められていることが明らかになった。

(4) 小売業の店頭従業員の能力獲得について、外部環境を考慮したモデルの実証分析により、従業員の能力獲得には、外部環境からのプレッシャーが有効に働く場合と、逆にプレッシャーが負の効果をもたらす場合があることが確認された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計12件)

横山 斉理 (2015) 「食品スーパーの顧客満足を規定する要因に関する経験的研究」、『流通研究』、査読有、17(4)、21-36頁。

柳到亨・横山 斉理 (2014) 「商業集積における組織的活動を捉えるための視点～韓国ソウル市のトケビ市場の事例研究を手がかりとして～」、『経済理論』、第378号、35-51頁。

横山 斉理 (2014) 「チェーン小売企業の実証分析におけるマルチレベル分析の適用～一般線形モデル (GLM) と階層線形モデル (HLM) の比較～」、『日本マーケティング学会マーケティングカンファレンス 2014 プロシーディングス』、査読有、207-209頁。

横山 斉理 (2014) 「地域商業における商人家族と事業継承」、『中小商工業研究』、第121号、17-28頁。

Yokoyama, N., & D.H. Ryu, "The characteristics of Japanese small and medium-sized retailers' business

succession”, *Proceedings of the 7th Oxford Asia Retail Conference: The Impact of Retailing in Emerging and Mature Markets*, **reviewed**, 2014, pp.1-18.

柳到亨・横山斉理(2014)「東アジアの卸売商業集積における家業意識についての国際比較」『*経済理論*』第 375 号、49-67 頁。

横山斉理・尾形真実哉(2013)「食品スーパーの競争優位の源泉としての店頭～店舗従業員の組織行動に関する経験的研究～」『*マーケティングカンファレンス 2013 プロシーディングス*』、**査読有**、137-140 頁。

滝本(金井)優枝・横山斉理(2013)「小売業の地域多様性はどれほど耐性があるか」『*商学集志*』83(1・2)、19-35 頁。

Yokoyama, N., M. Takimoto and M. Takemura, “On-site innovation in Japanese local grocery chain stores”, *Proceedings of XXIV ISPIM Conference*, **reviewed**, 2013, pp.1-8.

Yokoyama, N., M. Takimoto, and M. Takemura, “Small and Medium-Sized Retailers Compete against Global Giants by Local Adaptation: Market Structure of Grocery Distribution in Japan”, *Proceedings of the 38th Annual Macromarketing Conference*, **reviewed**, 2013, pp.218-229.

横山斉理(2013)「商店街における主体間関係と組織的活動の関係」『*流通情報*』、**査読有**、第 500 号、13-28 頁。

Yokoyama, N., “The competitive advantage of regional grocery chain stores in Japan”, *Proceedings of The Asian Retailing and Distribution Workshop*, **reviewed**, 2012, pp.1-18.

〔学会発表〕(計 11 件)

横山斉理(2014 年 11 月 23 日)「チェーン小売企業の実証分析におけるマルチレベル分析の適用～一般線形モデル(GLM)と階層線形モデル(HLM)の比較～」『*日本マーケティング学会マーケティングカンファレンス 2014*』、**査読有**、早稲田大学。

Yokoyama, N., & D.H. Ryu, “The characteristics of Japanese small and medium-sized retailers’ business succession”, *Proceedings of the 7th Oxford Asia Retail Conference: The Impact of Retailing in Emerging and Mature Markets* **reviewed**, 26/9/2014, National University of Singapore, Singapore.

横山斉理(2014 年 6 月 1 日)「地域スーパーの競争優位に関する考察：顧客

満足と店頭従業員に着目した経験的研究」『*日本商業学会第 64 回全国研究大会*』、**査読有**、一橋大学。

横山斉理(2013 年 12 月 14 日)「食品スーパーの顧客満足を規定する要因に関する経験的研究」『*日本商業学会第 4 回全国研究報告会*』、日本大学。

横山斉理・尾形真実哉(2013 年 11 月 10 日)「食品スーパーの競争優位の源泉としての店頭～店舗従業員の組織行動に関する経験的研究～」『*日本マーケティング学会マーケティングカンファレンス 2013*』、**査読有**、早稲田大学。

Yokoyama, N., M. Takimoto and M. Takemura, “On-site innovation in Japanese local grocery chain stores”, *XXIV ISPIM Conference: “Innovating in Global Markets: Challenges for Sustainable Growth”*, **reviewed**, 19/6/2013, Aalto University School of Economics in partnership with Lappeenranta University of Technology, Helsinki, Finland.

Yokoyama, N., M. Takimoto, and M. Takemura, “Small and Medium-Sized Retailers Compete against Global Giants by Local adaptation: Market Structure of Grocery Distribution in Japan”, *The 38th Annual Macromarketing Conference*, **reviewed**, 6/6/2013, York University, Toronto, Canada.

横山斉理(2013 年 5 月 26 日)「商業者のまちづくり活動を捉える視点」『*日本商業学会第 63 回全国研究大会*』、**査読有**、立命館大学。

横山斉理(2012 年 12 月 8 日)「商業・流通研究における中小商業研究の位置づけ」『*日本商業学会関東部会 12 月例会*』、東洋大学。

Yokoyama, N. “the competitive advantage of regional grocery chain stores in Japan”, *The 10th SARD Workshop: New opportunity and challenge for Asian retail development in the next decade*” **reviewed**, 2/12/2012, University of Marketing and Distribution Sciences, Kobe, Japan

横山斉理(2012 年 10 月 7 日)「流通における中小小売商業者の存在意義」『*日本地理学会秋季学術大会*』、神戸大学。

〔図書〕(計 3 件)

横山斉理・水越康介(2013)「まちづくりを可能にする小売業の外部性：元町商店街(協同組合元町 SS 会)の歴史的考察」、水越康介・藤田健編著『*新しい*

公共・非営利のマーケティング』、碩学舎、162-186 頁。

横山 齊理(2013)「関係性から捉える商店街と商業論の可能性：長田神社前商店街におけるポイントカード事業の展開」、水越康介・藤田健編著『新しい公共・非営利のマーケティング』、碩学舎、48-72 頁。

横山 齊理(2012)「個人商店からチェーンストアへ」、清水信年・坂田隆文編著『1 からのリテール・マネジメント』、碩学舎、17-31 頁。

〔産業財産権〕

出願状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

横山 齊理 (YOKOYAMA, Narimasa)

日本大学・商学部・准教授

研究者番号：7 0 4 6 1 1 2 6